

# 特定非営利活動法人日本火山学会 2024 年度秋季大会プログラム

期間：2024 年 10 月 16 日（水）～ 10 月 18 日（金） 3 日間（学術講演会）

会場：北海道立道民活動センター「かでの 2・7」

後援：北海道、札幌市、札幌市教育委員会

協力：道総研 エネルギー・環境・地質研究所

## 【会場】

北海道立道民活動センター「かでの 2・7」

〒 060-0002 北海道札幌市中央区北 2 条西 7 丁目 道民活動センタービル

<https://homepage.kaderu27.or.jp/>

## 【口頭発表スケジュール】

		A 会場（かでのホール）	B 会場（4F 大会議室）
10 月 16 日 （水）	午前 （9:20～11:05）	北海道の火山(1)	マグマの蓄積と移動
	午前 （11:20～12:50）	北海道の火山(2)・地殻変動	噴火のダイナミクス
	午後 （14:15～16:15）	火山の監視と活動評価	噴出物の堆積と運搬
10 月 17 日 （木）	午前 （9:20～11:05）	火山の地質学・岩石学・噴火史	火山の地震
	午後 （14:15～15:40）	臨時総会	
	午後 （15:50～17:20）	受賞記念講演	
10 月 18 日 （金）	午前 （9:20～11:05）	火山防災(1)	マグマの発生・形成史と時空間分布
	午前 （11:20～12:50）	火山防災(2)	火山化学
	午後 （14:15～16:00）	ジオパーク・教育・普及	地下構造

※一人あたりの講演時間は 15 分ですが、2 分は質疑応答時間として残すようにしてください。

※発表形式は現地発表もしくはオンライン発表になります。

## 【ポスター発表スケジュール】

・会場：「かでの 2・7」10 階 会議室 1040・1050・1060・1070

・発表形式は現地発表のみになります。

・ポスター掲示期間：10 月 16 日（水）13 時～18 日（金）12 時

・コアタイム：10 月 16 日（水）16：30-18：00（奇数番号）

10 月 17 日（木）11：20-12：50（偶数番号）

## 【交流会】

開催日時：10 月 17 日（木）開宴：18 時 30 分～20 時 30 分

会場：ホテルポールスター札幌

<https://www.polestar-sapporo.com/>

会 費：社会人（シニア満70歳以上含む）：通常10,000円 直前12,000円  
大学院生・学部生・無給研究員：通常5,000円 直前6,000円

【公開講座】・10月19日（土）13：00～16：00

開催場所：札幌市青少年科学館

内容：親子で火山実験『知りたい！北海道の火山いろいろ』

【一般講演会】

・10月19日（土）13：00～15：10

会場：札幌市教育文化会館 小ホール

内容：「北海道における超巨大噴火の歴史と今後」

【現地討論会】

・「登別」

開催日時：10月15日（火）

案内者：後藤芳彦（室蘭工業大学）・高橋 良（北海道立総合研究機構）

参加費：500円程度の見込み（保険・資料代）

見学予定：地獄谷、大正地獄、大湯沼周辺

・「樽前・支笏」

開催日時：10月19日（土）

案内者：古川竜太（産総研）・高橋 良・藤原 寛（北海道立総合研究機構）

参加費：7,000-8,000円程度の見込（バス・保険・資料代）

見学予定：樽前山7合目ヒュッテ～山頂火口原（悪天の場合は山麓部の露頭）

【ジオツアー】

・十勝岳ジオパーク・ジオツアー

開催日時：10月14日（月）～15日（火）

主催：十勝岳温泉湯元凌雲閣（北海道空知郡上富良野町十勝岳温泉）

協力：十勝岳ジオパーク推進協議会

案内者：十勝岳ジオパーク 認定ジオガイド

参加費：17,000円（税込み：宿泊費・保険代・資料代等）

10月16日(水) 午前

A 会場

北海道の火山 (1)

座長：後藤章夫・高橋 良

9:20-9:35

A1-01 十勝岳の火道域における熱水変質作用による浸透率変化 ※高橋 良・竹内晋吾・藤原 寛・田中 良・上澤真平

9:35-9:50

A1-02 ドローンを使用した十勝岳 1988-1989 年噴火の火山弾の分布範囲の検討 ※佐藤鋭一・鷲頭悠我・若松航生・山崎直樹

9:50-10:05

A1-03 溶岩流地形保存と指標テフラ層序に注目した火道不安定型火山の形成史解明：北海道東部，アトサヌプリ火山の例 ※◎上野健太・中川光弘・松本亜希子

10:05-10:20

A1-04 古地磁気学的手法を用いた阿寒カルデラ Ak2 噴火の進展過程の推定 ※佐藤勇輝・西来邦章・長谷川 健・柴田翔平・楠 稚枝・岡田 誠

10:20-10:35

A1-05 有珠火山 1977 年噴火におけるマグマ上昇過程：噴出物解析と減圧結晶化実験による制約 ※◎堀田修平・奥村 聡・松本一久・宮本 毅・東宮昭彦・新井田清信

10:35-10:50

A1-06 有珠山噴火における放熱率と噴火活動期間の関係 ※後藤章夫・鍵山恒臣・宮本 毅・横尾亮彦・谷口宏充

10:50-11:05

A1-07 北海道寿都・神恵内の第四紀火山の認定—高レベル放射性廃棄物の地層処分候補地の要件— ※岡村 聡・相澤正隆・石崎俊一・石井正之・菅原 誠

11:05-11:20 休憩

北海道の火山 (2)・地震変動

座長：味喜大介・小林知勝

11:20-11:35

A1-08 超稠密 GNSS 観測網による屈斜路カルデラ周辺の非正常地震変動 ※大園真子・高橋浩晃・奥山 哲・太田雄策・大野圭太郎

B 会場

マグマの蓄積と移動

座長：鈴木由希・為栗 健

9:20-9:35

B1-01 地震波トモグラフィによる鬼界カルデラのマグマ供給系イメージング ※山本揚二郎・伊藤亜妃・石原 靖・大林政行・田中 聡・中道治久・八木原 寛・仲谷幸浩・杉岡裕子・大塚宏徳・松野哲男・島 伸和

9:35-9:50

B1-02 地震波速度構造解析から見た始良カルデラの構造とマグマ溜まり ※為栗 健・澁谷拓郎・筒井智樹・井口正人

9:50-10:05

B1-03 2020 年フィリピン・タール火山噴火に伴うマグマの移動過程 ※熊谷博之・Ma. Antonia Bornas・Winchelle Ian Sevilla・Rudy Lacson Jr.・Melquiades S. Figueroa II・Christian Joseph Clarito・森 亜津紗・浜本未希

10:05-10:20

B1-04 浅間前掛火山マグマ溜りシステムの岩石学 ※高橋正樹・安井真也・金丸龍夫

10:20-10:35

B1-05 噴出物から探る三宅島火山すおう穴—風早噴火の噴火過程 ※◎橋本 咲・安田 敦・石橋秀巳・下司信夫・外西奈津美

10:35-10:50

B1-06 霧島火山新燃岳の享保噴火と 2011 年噴火の比較研究 ※鈴木由希・外西奈津美・前野 深・安田 敦

10:50-11:05

B1-07 マグマの圧力(深度)推定精度の向上 ※宮城磯治

11:05-11:20 休憩

噴火のダイナミクス

座長：鈴木雄治郎・三輪学央

11:20-11:35

B1-08 マグマへの水の溶解に関する化学熱力学的考察：「部分モル体積のパラドックス」の解決と「3成分非対称正則溶液モデル」の提案 ※西脇瑞紀・福谷貴一

- 11:35-11:50  
A1-09 長期ペアを組み合わせた干渉 SAR 時系列解析で捉えた中・長期的な火山性地殻変動  
※小林知勝・宗包浩志
- 11:50-12:05  
A1-10 道南地域における中・長期的な火山性地殻変動  
※宗包浩志・小林知勝
- 12:05-12:20  
A1-11 火山観測用可搬型レーダー干渉計 (SCOPE) による地殻変動検出事例  
※小澤 拓・宮城洋介・奥山 哲・姫松裕志
- 12:20-12:35  
A1-12 海底地盤変動観測装置による始良カルデラ海域の地盤変動観測  
※味喜大介・筒井智樹・井口正人
- 12:35-12:50  
A1-13 GNSS キネマティック解析により観測された 2015 年桜島ダイク貫入に伴う地盤変動の時間発展  
※◎剣持拓未・青木陽介・井口正人・中道治久

- 11:35-11:50  
B1-09 気泡を含んだ流紋岩質メルトの反発係数  
※三輪学央・奥村 聡・黒川愛香・佐野恭平・上杉健太郎
- 11:50-12:05  
B1-10 顕微可視分光システムによる火山灰粒子分類の改良  
※嶋野岳人・中村美千彦
- 12:05-12:20  
B1-11 桜島における DAS を用いた爆発地震の発震機構の推定  
※◎長谷川誉久・西村太志・中原 恒・廣瀬 郁・田口貴美子・中道治久・江本賢太郎・濱中 悟
- 12:20-12:35  
B1-12 傘型噴煙の拡大シミュレーション噴火：ラウン火山 2024 年噴火の事例  
※鈴木雄治郎
- 12:35-12:50  
B1-13 火山灰による噴煙からの硫黄除去モデリング：異なる噴出率の噴火への応用  
※◎渡辺詩文・奥村 聡・鈴木雄治郎

10月16日 (水) 午後

### A 会場

火山の監視と活動評価

座長：高木朗充・栗原 亮

- 14:15-14:30  
A1-14 火山活発化指数の導入による箱根火山の火山活動の定量化  
※栗原 亮・萬年一剛・外山浩太郎・本多 亮・安部祐希・長岡 優・菊川城司・宮下雄次・板寺一洋
- 14:30-14:45  
A1-15 無人船による西之島火山の統合観測  
※多田訓子・永野 憲・田中 聡・市原 寛・末次大輔・松岡大祐・伊藤 誠・桑谷 立・本多牧生
- 14:45-15:00  
A1-16 映像 IoT 技術と画像解析による桜島モニタリング  
※菊田和孝・村田健史・西村太志
- 15:00-15:15  
A1-17 地震動と地盤変動を用いた火山灰噴出率評価の課題  
※井口正人・山田大志・中道治久
- 15:15-15:30  
A1-18 岩手山における長周期地震と火山活動推移  
※山本 希

### B 会場

噴出物の堆積と運搬

座長：田島靖久・真木雅之

- 14:15-14:30  
B1-14 霧島火山、御池軽石噴火の推移に着目した地質学的研究  
※◎木尾竜也・下司信夫・成尾英仁・西原 歩・宮縁育夫
- 14:30-14:45  
B1-15 霧島火山、硫黄山南火口及び噴火孔における 2022～2023 年の小噴出イベント  
※田島靖久・松島 健・石橋純一郎・鈴木桂子・村松 弾・及川 純・村上千晶・村田健史
- 14:45-15:00  
B1-16 衛星から観測した火山灰雲の輝度温度スペクトルによる火山灰物質の推定  
※石元裕史・新堀敏基・石井憲介・林 昌宏
- 15:00-15:15  
B1-17 船舶レーダによる水平と鉛直の桜島噴煙観測  
※西 隆昭・真木雅之・中道治久・海賀和彦・藤吉康志
- 15:15-15:30  
B1-18 船舶レーダによる降下火砕物推定手法  
※小堀壯彦・真木雅之・西 隆昭・中道治久・中村啓彦・海賀和彦

- 15:30-15:45  
A1-19 26年ぶりに再開した岩手山の2024年マグマ活動  
※岡田 純・丹原 裕・田中裕隆・近内雪乃・山村卓也・宮川祐司・大石雅之・山本 希・出町知嗣・三浦 哲
- 15:45-16:00  
A1-20 草津白根山における浅部熱水系の時間変化—数値モデルによる湯釜火口湖の熱・物質解析—  
※◎藤原季路・寺田暁彦・谷口無我
- 16:00-16:15  
A1-21 マルチガス観測解析技術による吾妻山の火山活動  
※高木朗充・阿部優大・作野 魁・菅野 舜・谷口無我・岡田 純

- 15:30-15:45  
B1-19 終端速度から推定された凝集テフラ粒子の密度  
※真木雅之・井口正人
- 15:45-16:00  
B1-20 ロケット打上げ時の無線通信に与える火山噴煙の影響の評価法  
※大和田陽一・川邊 泉・砂見幸之・福添森康・小池一稀・井上文太・宮川陸大・白井美琴・長浜宗治・中道治久・井口正人・瀧下恒星・片山勝之
- 16:00-16:15  
B1-21 玄武岩質溶岩流の厚み分布に関する理論モデル  
※丸石崇史

10月17日(木) 午前

A 会場

火山の地質学・岩石学・噴火史  
座長：宮縁育夫・谷内 元

- 9:20-9:35  
A2-01 虹色スコリア：構造色を生む微細組織の成因  
※松本恵子・川崎誠二
- 9:35-9:50  
A2-02 噴火開始時に新鮮なマグマの存在を示す新しい鉱物学的判定指標：新燃岳2017-18年活動による検証  
※◎黒木徹也・無盡真弓・Ekky Reno Priyambodo・中村美千彦・松本恵子・井村隆介・嶋野岳人
- 9:50-10:05  
A2-03 東北日本弧・岩木火山における完新世火山活動とマグマ系  
※谷内 元・古川竜太・及川輝樹・伴 雅雄
- 10:05-10:20  
A2-04 テフラと火山体構成堆積物との対比手法の検討：東北日本、秋田駒ヶ岳火山の形成史の解明に向けて  
※◎田次将太・中川光弘・和知 剛・松本亜希子
- 10:20-10:35  
A2-05 九重火山東部今水地域におけるテフラ層序(速報)  
※辻 智大・太田岳洋・福岡仁至・岡田将英
- 10:35-10:50  
A2-06 トレンチ調査にもとづく阿蘇火山中岳の最近約800年間の活動推移  
※宮縁育夫・飯塚義之・緒方裕也
- 10:50-11:05  
A2-07 阿蘇火山中岳南麓斜面でのテフラ層序(序報)  
※星住英夫・下司信夫・宮縁育夫

B 会場

火山の地震  
座長：高野智也・廣瀬 郁

- 9:20-9:35  
B2-01 地震計連続記録の粒子軌跡解析により推定した霧島山新燃岳噴火に先行する地震波動場の時間変化  
※廣瀬 郁・上田英樹
- 9:35-9:50  
B2-02 2011年新燃岳噴火時の長周期地震活動  
※武尾 実
- 9:50-10:05  
B2-03 新燃岳2008年噴火の以前、噴火直前及び以後に発生した火山性地震の深度分布とb値の特徴  
※及川 純・田島靖久
- 10:05-10:20  
B2-04 2006年10月の月曜海山近傍の地震活動における詳細な震源推定を通じた海底火山活動の考察  
※◎青山哲也・竹内 希・青木陽介
- 10:20-10:35  
B2-05 複素主成分分析を用いたDASで記録された吾妻山火山性地震の震源決定  
※西村太志・森作史哉・中原 恒・山本 希・三浦 哲・江本賢太郎
- 10:35-10:50  
B2-06 水滴成長モデルに基づく火山性低周波地震の励起過程の推定  
※◎中野誠之・熊谷博之
- 10:50-11:05  
B2-07 稠密地震観測網のコヒーレンス解析による長周期振動の検出  
※高野智也・Piero Poli

10月17日(木) 午後

A 会場  
受賞記念講演  
座長：青山 裕

15:50-16:20

S-01 書籍の編集と出版を通じた火山学の発展と普及への貢献 ※小松美加

16:20-16:50

S-02 電磁気学的観測・実験・計算に基づく火山噴火準備過程及び噴火現象の総合的研究 ※相澤広記

16:50-17:20

S-03 火山浅部熱水系の活動プロセスの理解を目指した多項目観測と数値実験による複合的研究 ※田中 良

10月18日(金) 午前

A 会場  
火山防災 (1)  
座長：佐々木寿・中道治久

9:20-9:35

A3-01 火山調査研究推進本部の設立までの経緯 ※藤井敏嗣

9:35-9:50

A3-02 山梨県の火山防災の取り組み：やまなし火山防災イノベーションコンピッチテストの概要 ※吉本充宏・本多 亮・藤井敏嗣

9:50-10:05

A3-03 静岡県の火山防災行政史 ※小山真人

10:05-10:20

A3-04 御嶽山 2014 年噴火後に設置された退避壕等の現状と課題 ※佐々木 寿・加藤(成毛) 志乃・立山耕平・山田浩之

10:20-10:35

A3-05 赤外線サーモグラフィ試験を用いた桜島火山における鉄筋コンクリート造シェルターの健全性評価 ※山田浩之・小笠原永久・佐々木 寿

10:35-10:50

A3-06 小型宇宙線ミュオン検出器を用いた山梨県七里岩トンネルにおける葦崎岩屑なだれの計測 ※後藤 聡・小幡隼士・後藤瑞季・木本瞳子・後藤 禎

B 会場

マグマの発生・形成史と時空間分布  
座長：田村芳彦・佐野貴司

9:20-9:35

B3-01 伊豆-小笠原弧の島弧沿い地球化学的変動を生み出すスラブ由来物質

※佐野貴司・谷 健一郎・栗谷 豪・石塚 治・三好雅也・川口允孝・大澤崇人・中川光弘・米田成一

9:35-9:50

B3-02 蒲生単成火山群の玄武岩質スコリアから推定される九州背弧側領域マンツルの温度と含水状態

※◎森北那由多・栗谷 豪・清水健二・牛久保孝行

9:50-10:05

B3-03 トンガ弧フンガ火山と小笠原弧西之島との比較

※田村芳彦・佐藤智紀・常 青・宮崎 隆・Bogdan Vaglarov・Richard Wysoczanski・Kevin Mackay

10:05-10:20

B3-04 更新世火山における  $^{40}\text{Ar}/^{39}\text{Ar}$  年代測定に最適な溶岩流組織の特徴づけ Characterization of optimal lava flow textures for  $^{40}\text{Ar}/^{39}\text{Ar}$  dating at Pleistocene volcanoes

※ Chris Conway・山崎誠子・石塚 治・針金由美子

10:20-10:35

B3-05 岡山県岡山市北区龍ノ口山における白亜紀火砕岩類の分布と岩相

※毛利元紀・山本瑞樹・松尾晋太郎

10:50-11:05  
A3-07 桜島の有村川と野尻川における2024年DAS観測  
と土石流検知

※中道治久・江本賢太郎・米盛航平・  
田口貴美子・廣瀬 郁・西村太志

11:05-11:20 休憩

火山防災 (2)

座長：藤沢康弘・金 幸隆

11:20-11:35

A3-08 火山防災における火山砂防の役割と課題

※藤沢康弘・池田暁彦

11:35-11:50

A3-09 火山防災における火山砂防対策 (ハード対策)

※池田暁彦・藤沢康弘

11:50-12:05

A3-10 火山防災における溶岩流シミュレーションを用いた  
火山砂防対策

※吉田真也

12:05-12:20

A3-11 火山防災における火砕流シミュレーションを用いた  
火山砂防対策

※志水宏行・吉田真也・藤沢康弘・小林拓也

12:20-12:35

A3-12 地質ハザード情報システム及び火山ハザード情報  
システムの構築

※宝田晋治・Joel Bandibas・河野裕希・菊谷恵美・  
米谷珠萌・長田美里・池上郁彦

12:35-12:50

A3-13 2014年御嶽山噴火時の映像と2022・23・24年の  
避難訓練に基づく登山者の行動分析および登山者  
への情報伝達

※金 幸隆・前田裕太・高橋 誠・鷺谷 威・  
大湊隆雄・寺田暁彦・山岡耕春・野田智彦

10:35-10:50

B3-06 京都府丹後中新世ピクライト質玄武岩の生成過程

※◎近藤 光・坂根勇輝・柵山徹也

10:50-11:05

B3-07 西北海道, 「小樽・オタモイ海岸」とその周辺  
地域の火山地質特に, 水中火山岩類の産状の検討

※松田義章

11:05-11:20 休憩

火山化学

座長：角皆 潤・関 香織

11:20-11:35

B3-08 乾燥剤を用いた火山噴煙中の水素の定量技術の高  
度化

※風早竜之介・森 俊哉・篠原宏志

11:35-11:50

B3-09 鉛直硫化水素センサーアレイを用いた火山ガス放  
出量定量：固定法 (FP法) による観測の簡易化

※角皆 潤・宮本裕崇・渡部紘平・  
伊藤昌稚・中川書子・風早竜之介

11:50-12:05

B3-10 火山噴煙中の水蒸気同位体組成に観測された火山  
放出水蒸気の部分凝縮・除去の証拠

※◎宮本裕崇・角皆 潤・伊藤昌稚・  
中川書子・森下雄平・風早竜之介

12:05-12:20

B3-11 阿蘇火山火口湖湯だまりにおける地球化学的研究

※中村仁美・横尾亮彦・岩森 光・  
森川徳敏・西澤達治・森 俊哉

12:20-12:35

B3-12 えびの高原硫黄山の火山ガス・温泉水の硫黄同位  
体比

※関 香織・丸岡照幸・篠原宏志・  
谷口無我・大場 武・田町勇気

12:35-12:50

B3-13 草津白根山における火山ガス組成と地震頻度の相  
関

※大場 武・谷口無我・  
沼波 望・豊島誠也・寺田暁彦

10月18日 (金) 午後

ジオパーク・教育・普及  
座長：廣瀬 亘・横山 光

14:15-14:30

A3-14 富士山噴火を想定した中学校区での防災訓練の実  
践と課題

※久保智弘・吉本充宏

14:30-14:45

A3-15 ジオパークに関わる研究支援の現状と課題

※廣瀬 亘

地下構造

座長：筒井智樹・萬年一剛

14:15-14:30

B3-14 草津白根火山周辺の熱異常の解析

※◎本田明紗海・Társilo Girona・神田 径

14:30-14:45

B3-15 箱根大涌谷の蒸気卓越帯と噴気地帯の形成

※萬年一剛

- 14:45-15:00  
 A3-16 噴火災害を後世に伝承する地域防災教育～「島原  
 防災塾」～ ※清水 洋・東山陽次・長井大輔  
 15:00-15:15  
 A3-17 火山活動に関わる STEAM 教育の意義  
 ※佐藤真太郎  
 15:15-15:30  
 A3-18 第2回火山実験研究交流会の実施と今後の展望  
 ※横山 光・佐藤 公・林 信太郎・増淵佳子・  
 佐藤真太郎・池辺 靖・佐藤 楓  
 15:30-15:45  
 A3-19 火山防災の日を活用した啓発活動のススメ  
 ※佐藤 公・杉本伸一

- 14:45-15:00  
 B3-16 安達太良山沼ノ平火口の浅部比抵抗構造  
 ※◎川田大誠・神田 径・市來雅啓・  
 長池広樹・石吾樹生  
 15:00-15:15  
 B3-17 火山岩における脆性変形と延性変形の機械的切り  
 替え Switching between brittle and ductile mechani-  
 cal deformation of volcanic rocks.  
 ※ Jamie Farquharson・Michael Heap・  
 Lucille Carbillet・Patrick Baud  
 15:15-15:30  
 B3-18 Modified Frequency-Bessel Transform Method (MFJ  
 法)を用いた御嶽山の地下速度構造推定  
 ※◎浅井 岬・前田裕太・渡辺俊樹  
 15:30-15:45  
 B3-19 軽石層中の水槽におけるエアガン発振実験  
 ※筒井智樹・井口正人  
 15:45-16:00  
 B3-20 伊豆大島総合観測井における物理検層の再解析  
 (2) ※小村健太郎

ポスターセッション

コアタイム：10月16日(水) 16:30-18:00 (奇数番号)  
 10月17日(木) 11:20-12:50 (偶数番号)

- P01 温泉水の涵養域や形成過程を踏まえた北海道知床  
 硫黄山の溶融硫黄噴火モデルの妥当性検証  
 ※山本睦徳・柏谷公希・多田洋平・  
 後藤忠徳・小池克明  
 P02 北海道東部、屈斜路カルデラ周辺のテフラ層序お  
 よび岩石学的特徴 ※柴田翔平・長谷川 健  
 P03 雌阿寒岳の火山活発化指数 (VUI) の試作  
 ※橋本武志・青山 裕・田中 良・  
 大倉敬宏・森 俊哉・高木朗充  
 P04 34ka 層雲峡噴火の際に発生した噴煙柱の噴泉崩壊  
 ※安田裕紀  
 P05 火砕流堆積物とその活用 ※富島千晴  
 P06 十勝岳火山群、ヌッカクシ火口周辺の山体構造(予  
 察) ※藤原 寛・高橋 良・上澤真平  
 P07 十勝岳火山群、ヌッカクシ火口域の活動の特徴：  
 噴火事象系統樹作成に向けて  
 ※松本亜希子・中川光弘・石塚吉浩  
 P08 アレイ観測による十勝岳の火山性地震・微動発生  
 源推定 ※◎藤原直哉・青山 裕  
 P09 利尻起源ワンコの沢軽石の珪長質マグマの成因  
 ※◎河原花衣・松本未来・栗谷 豪

- P10 樽前 a 降下火砕堆積物 (Ta-a) の粒度分布 (その 2)：  
 直下の火山灰との混交の影響  
 ※西来邦章・広井良美・古川竜太  
 P11 後支笏カルデラ火山の岩石学的研究  
 ※◎鈴木捷太・栗谷 豪・中川光弘  
 P12 後支笏カルデラ、風不死火山における最新の火口  
 群と活動年代 ※古川竜太・及川輝樹  
 P13 蘭法華岬にみられる完新世テフラ―登別 (倶多楽)  
 火山起源の可能性―  
 ※松原巧樹・大窪元貴・三浦大助  
 P14 北海道有珠山, 昭和新山テフラの分布域  
 ※後藤芳彦・佐藤康大  
 P15 国土地理院空中写真を用いた有珠山 1977 年噴火  
 後の泥流による地形変化 ※清水武志  
 P16 岩石学的にみた有珠山 1977-78 年噴火のマグマ  
 上昇過程 ※東宮昭彦  
 P17 有珠山 2000 年噴火時の GPS データの再解析によ  
 る地盤変動観測  
 ※◎平戸悠登・田中 良・大園真子・  
 太田雄策・大野圭太郎

- P18 二次元アナログ実験によるマグマ貫入への地形および貫入地点の影響の検討  
※福安幸緒・田中 良
- P19 臨時地震観測によるニセコ火山群の定常地震活動と蒸気噴出に伴う微動  
※一柳昌義・大園真子・高橋浩晃・岡崎紀俊・田村 慎
- P20 しかべ間歇泉における噴出間隔の外的影響に対する応答  
※柘植鮎太・青山 裕
- P21 北海道駒ヶ岳の3次元速度構造に対する震源分布と地震活動 ※鬼澤真也・長山泰淳・青山 裕
- P22 恵山火山完新世水蒸気噴火堆積物の熱水変質鉱物  
※◎濱田明知・三浦大助
- P23 干渉SARによる岩木山西側斜面の変位と追子森断層  
※道家涼介・黒澤英樹
- P24 十和田火山におけるマグマ活動史：その8 マグマ溜まりの深度変遷  
※広井良美・佐藤勇輝・宮本 毅
- P25 十和田火山・中湖カルデラ形成期のマグマ過程  
※宮本 毅・広井良美・佐藤勇輝・井澤慶俊
- P26 十和田火山八戸噴火のマグマプロセス  
※◎伊藤ひなた・栗谷 豪・工藤 崇
- P27 秋田焼山における最近80年間の噴火活動史とそれに伴う火口地形の時間的変遷 ※伊藤順一
- P28 東北日本弧火山フロント、七時雨火山の同位体地質学的研究  
※相澤正隆・安井光大・畠山富昌・井村 匠
- P29 岩手火山、貞享三年(1686年)噴火の経緯、特に火砕流・火砕サージについて ※土井宣夫
- P30 鳥海山・飛鳥ジオパークにおける地形地質サイトの再設定 ※大野希一
- P31 東北日本仙岩火山地域・丸森地すべりの形成過程  
※長井雅史・土井宣夫・上田英樹
- P32 蔵王火山東麓地域における岩屑なだれ堆積物  
※大友迪人・伴 雅雄
- P33 蔵王火山馬の背における過去400年間のマグマ水蒸気噴火噴出物の岩石学的特徴  
※◎岩脇 望・伴 雅雄・井村 匠
- P34 文献資料と野外調査に基づく、福島県、吾妻一浄土平火山1893年～1895年明治噴火の噴火推移復元 ※◎甲野藤ゆうな・長谷川 健・及川輝樹
- P35 那須火山群、茶臼岳火山の活動史の再編  
※◎石射一希・渡部将太・長谷川 健
- P36 那須茶臼岳1408~1410年噴火堆積物の構成物分析および熱水変質鉱物の特徴  
※北原遼太・鈴木里玖・長谷川 健
- P37 草津白根山(湯釜付近)の2014、及び2018年の火山活動活発化とSeismic background level (SBL)の時間変化。  
※小林 宰・市原美恵・行竹洋平・野上健治・寺田暁彦
- P38 草津白根山における2018年2月から5月にかけての火山性低周波地震の振動周波数の時間変化  
※森 亜津紗・寺田暁彦
- P39 浅間16kaプリニー式噴火の気泡組織と減圧過程  
※◎凶子田和典・前野 深
- P40 Recoverability of near-to-source VLP waveforms using far-from-source stations at Asama Volcano: implications of VLP source variations  
※◎Victoria Hipatia Olivera Craig・市原美恵・行竹洋平・武尾 実・大湊隆雄
- P41 浅間前掛火山1783年噴火降下軽石の岩石磁気・古地磁気 ※金丸龍夫・古川邦之
- P42 鷲羽池火山の西域に分布する2層の水蒸気噴火テフラの噴出源 ※石崎泰男・亀谷伸子
- P43 テフラ層序から見た弥陀ヶ原火山の完新世噴火履歴 ※◎中村文哉・石崎泰男
- P44 地獄谷縞状湖沼堆積物を用いた弥陀ヶ原火山の完新世噴火履歴の精緻化  
※◎金内亜紋・石崎泰男・石川尚人・堀川恵司
- P45 焼岳火山に分布する火山性堆積物層序の再検討  
※◎西田光孝・齋藤武士
- P46 ドローン写真測量による焼岳の火口地形測定  
※◎中山舜介・齋藤武士・宿輪隆太
- P47 御嶽山周辺におけるブーゲー異常  
※◎白山智之・市原 寛・伊藤武男・工藤 健・堀川信一郎・松廣健二郎・茂木 透・本多 亮・宮城洋介
- P48 御嶽山2014年噴火の約1ヶ月前からの傾斜変化―地殻変動データに含まれる降雨及び雪の影響の除去効果の検証― ※木村一洋
- P49 御嶽山2014年噴火における火山岩塊の噴出・落下速度の再考  
※常松佳恵・新谷竹望・川口永介・瀬尾和哉・井村 匠
- P50 テフラ層序からみた白山火山の完新世の噴火履歴  
※◎高山 顕・石崎泰男
- P51 富士山、馬伏川岩屑なだれ堆積物中の埋もれ木の産状 ※亀谷伸子・吉本充宏・西澤達治・渡部将太・内山 高・藤井敏嗣・池谷拓馬
- P52 富士山のテフラ対比・同定のためのオンラインデータベースの紹介  
※安田 敦・亀谷伸子・嶋野岳人・田島靖久・吉本充宏
- P53 富士山宝永噴火を想定した降灰シミュレーション  
※石井憲介・新堀敏基・入山 宙・藤田英輔

- P54 富士山 1707 年噴火のクリスタルマッシュ状斑れい岩捕獲岩中の粒間相の組織解析  
※◎西ヶ谷琴音・石橋秀巳・大塚芽久・外西奈津美・安田 敦
- P55 箱根火山大涌谷周辺で見られる夜間ノイズ中の微動  
※栗原 亮
- P56 地震波干渉法解析による箱根火山の表面波位相速度構造  
※長岡 優・西田 究・青木陽介・本多 亮
- P57 CSAMT データを用いた大涌谷噴気帯西部の三次元比抵抗構造推定  
南 拓人・※萬年一剛・城森 明・宇津木 充
- P58 伊豆カワゴ平火山の黒曜石の酸化還元状態  
※石橋秀巳・奥村 聡・上木賢太・諏訪由起子・外西奈津美・安田 敦 (講演取消)
- P59 1986 年伊豆大島山腹割れ目噴火前後の傾斜変動の再解析  
※成田冴理・鬼澤真也・川口亮平
- P60 伊豆大島ジオパークが火山防災に果たすべき役割  
※臼井里佳
- P61 陸海合同電磁気観測による伊豆大島の火山システムの解明に向けて  
※大石健登・小山崇夫・上嶋 誠・馬場聖至・臼井嘉哉・多田訓子・田中 聡
- P62 2023 年 10 月に孀婦海山近海で発生した津波：連続的な津波発生と海底カルデラとの関係  
※三反畑 修・久保田達矢
- P63 西之島 2020 年噴火で噴出した火山灰の組織的多様性  
※◎森遥平・石橋秀巳・安田 敦
- P64 ひまわり・GCOM-C による西之島 2021 年から 2023 年の活動観測  
※金子隆之・森田雅明・ママネル・安田 敦
- P65 衛星 SAR による西之島における荷重変形と熱収縮変形の検出  
※姫松裕志
- P66 地殻変動と同期する小笠原諸島硫黄島の相似地震活動  
※及川元己・上田英樹
- P67 紀伊半島における三次元深部電気比抵抗構造に基づいた高温泉の湧出機構に関する検討  
※◎渡部 熙・上嶋 誠・山口 覚・臼井嘉哉・村上英記・小河 勉・大志万直人・吉村令慧・相澤 広記・塩崎一郎・笠谷貴史
- P68 斑晶角閃石を用いた大山直下のマグマ供給系の特徴の解明  
※◎宗近俊祐・岡田郁生・森下知晃・田村明弘・芳川雅子・柴田知之
- P69 阿武単性火山群のスコリア中かんらん石メルト包有物の揮発性元素  
※◎吉村雪香・柵山徹也・清水健二・牛久保孝行
- P70 2024 年 8 月 8 日の日向灘の地震 (M7.1) に伴う九州の活火山における地震波速度変化  
※廣瀬 郁・高野智也
- P71 西南日本弧由布岳安山岩の端成分マグマの起源  
岡田郁生・※柴田知之・芳川雅子・石橋秀巳・杉本 健・早坂康隆
- P72 九重火山群火山岩類の岩石学的研究  
※◎山中壮馬・柴田知之・藤原涼太郎・芳川雅子・柴田智朗
- P73 九重火山群, 大船山米窪火口を給源とする米窪ガラソコリアについて  
※筒井正明・小林哲夫
- P74 九重火山南麓, 下坂田地域での地表地質踏査と手掘り掘削調査による九重火山起源の火砕流堆積物の層序  
※◎岡田将英・辻 智大
- P75 九重火山, 杳掛山火山の崩壊地形の形成過程  
※◎福岡仁至・太田岳洋・辻 智大
- P76 Tephra2 を用いた九重第 1 降下軽石 (Kj-P1) の降灰再現解析  
※矢野弘道・大西耕造・石川慶彦・山本和哉・潮田雅司・辻 智大
- P77 2023 年 7 月の梅雨前線豪雨に伴う大分県日田市の新第三紀火山岩地域の斜面崩壊  
※◎佐伯拓馬・宮縁育夫・木戸道男・星住英夫
- P78 萩岳火山と先阿蘇火山岩類との比較  
※◎福田颯亮・辻 智大
- P79 阿蘇カルデラ東部, 玉来川および大野川における玉来川溶岩～Aso-2 間のテフラ層序と岩石記載  
※◎武富真由・辻 智大
- P80 北海道標津町における Aso-4 火山灰の産状と KpII/III テフラとの時間間隙  
※潮田雅司・一井瑛介・上野龍之・奥村晃史・矢野弘道・大西耕造・石川慶彦
- P81 最近の阿蘇山中岳第一火口内の地形変化  
※横尾亮彦
- P82 阿蘇火山における二酸化硫黄放出率の準連続観測～その 3～  
※森 健彦・入山 宙・関 香織・河波俊和・岩本征大・井上秀穂・西 正儀
- P83 雲仙の溶岩に発達している結晶を取り巻く空隙の可視化  
※◎齋藤虹南・並木敦子
- P84 雲仙地獄における熱水変質作用の地球化学的研究：熱水変質岩および温泉水の主要・微量元素組成と元素移動  
※坂本光瑠・宮本知治・池端 慶・石橋純一郎・松島 健
- P85 五島列島福江島第四紀火山群に産する玄武岩質マグマの成因  
※柵山徹也・藤田智大・鈴木遼汰郎・萩原悠介・長岡信治・栗谷 豪
- P86 五島福江, 鬼岳火山の活動：スコリア丘の崩壊と再建  
※◎黒木 瞭・奥野 充・黒木貴一

- P87 次世代火山研究・人材育成総合プロジェクト, 課題間連携研究報告: どのように噴火様式・推移予測を行うか—伊豆大島と霧島を例として—  
※中川光弘・安田 敦・栗谷 豪・藤田英輔・大湊隆雄・前野 深・相澤広記・松本亜希子
- P88 霧島火山群のマグマ供給系についての論点  
※相澤広記・長岡 優・栗原 亮
- P89 霧島火山群の噴火シナリオの試案  
※前野 深・川口允孝・及川輝樹・小園誠史
- P90 霧島火山の  $^{40}\text{Ar}/^{39}\text{Ar}$  年代測定の予察的結果  
※山崎誠子・及川輝樹・Daniel P. Miggins・Anthony A. P. Koppers
- P91 斑晶の希ガス同位体に基づく霧島火山マグマ供給系への示唆  
※◎米田羅生・角野浩史・川口允孝・長谷中利昭・田島靖久
- P92 霧島火山群におけるヘリウム同位体比の時空間分布  
※福島菜奈絵・角野浩史・大場 武・谷口無我・安田裕紀・小長谷智哉・外山浩太郎・石橋純一郎
- P93 霧島硫黄山噴火後の熱水化学組成の経時変動 (V)  
※石橋純一郎・宮本知治・松島 健・山中寿朗・田島靖久
- P94 霧島硫黄山 2018 年水蒸気噴火時の傾斜・地震データの解析  
※◎勝山あすみ・松島 健・松本 聡・相澤広記
- P95 霧島硫黄山西火口における 2021 年以降の活動と地球物理学的観測  
※田辺暖柊・松島 健・相澤広記・村松 弾
- P96 積物量の推定に対する降灰堆積物の侵食の影響: 新燃岳 2011 年噴火噴出物での例 ※清杉孝司
- P97 霧島火山群・新燃岳で頻発したブラスト状噴火  
※小林哲夫・筒井正明
- P98 桜島における完新世のマグマ系の起源と進化  
※栗谷 豪・中川光弘・松本亜希子・西原 歩
- P99 全岩 Sr-Nd-Pb 同位体比に基づく桜島火山のテフラー溶岩対比の試み ※西原 歩・栗谷 豪
- P100 桜島大正噴火のマグマ減圧速度と火道岩脈構造の時間発達 ※下司信夫・三輪学央・Andrea Todde
- P101 噴出物層序と物質科学的特徴に基づく桜島薩摩噴火の推移 ※◎木尾竜也・下司信夫・西原 歩・成尾英仁・宮縁育夫
- P102 桜島ブルカノ式噴火に後続して発生する空振パルスの特徴 ※石井杏佳・山田大志・井口正人
- P103 降灰観測に基づく桜島火山灰連続放出の地震動メカニズムの検討  
※瀧下恒星・小園誠史・三輪学央・井口正人
- P104 火山灰水溶性成分から推察した桜島火山から放出される火山ガス組成の変化  
※野上健治・井口正人・味喜大介・山田大志・山本圭吾・園田忠臣・中道治久・為栗 健・筒井智樹・竹中悠亮
- P105 鹿児島市の降灰量と K-40 沈着量から見た大気中浮遊火山灰 ※木川田喜一・廣瀬勝己
- P106 桜島火山の Non-Eruptive Deflation における火山灰の粒子構成比の特徴  
※◎中岡風々海・嶋野岳人・井口正人
- P107 桜島火山におけるストロンボリ式噴火火山灰の記載岩石学  
※◎阿部遥斗・新谷直己・無盡真弓・中村美千彦・味喜大介・井口正人
- P108 桜島火山降灰量分布データベース (VASH) 一第 2 版—  
※真木雅之・佐野香那・西 隆昭・中道治久・小堀壮彦・梶山稜輔・中村啓彦
- P109 桜島における DAS 観測で推定したサイト増幅特性と地震波伝播速度  
※◎米盛航平・江本賢太郎・濱中 悟・Syed Idros Bin Abdul Rahmal・中道治久・西村太志・中原 恒・田口貴美子・廣瀬 郁
- P110 地殻変動データを用いた桜島浅部圧力源の推定  
※◎上土井歩佳・松島 健・山本圭吾
- P111 桜島火山における精密重力測定 (2019 年~2023 年) ※山本圭吾・風間卓仁・岡田和見・大島弘光・大柳 諒・竹中悠亮
- P112 桜島 DAS により観測された土石流に伴う地盤振動波形データの振幅および位相解析  
※田口貴美子・西村太志・中原 恒・廣瀬 郁・中道治久・江本賢太郎・濱中 悟
- P113 6.4ka 池田カルデラ噴火の噴火準備過程  
※◎佐藤月彦・安田 敦・石橋秀巳・西原 歩
- P114 鬼界アカホヤ火山灰の噴出量に関する再評価  
※◎春田悠祐・前野 深
- P115 鬼界カルデラにおける溶岩ドームマグマの特徴とアカホヤ噴火マグマとの関係  
※◎朝田 葵・金子克哉・羽生 毅・浜田盛久・清水健二・牛久保孝行・常 青
- P116 海底堆積物コアから見た鬼界アカホヤ噴火と鬼界葛原噴火堆積物の特徴  
※中岡礼奈・鈴木桂子・金子克哉・島 伸和・清杉孝司・山本由弦・松野哲男・羽生 毅・清水 賢・巽 好幸

- P117 グローバルトモグラフィによる鬼界カルデラ周辺のP波速度構造  
※大林政行・吉光淳子・山本揚二郎・伊藤亜妃・石原 靖・田中 聡・中道治久・八木原 寛・仲谷幸浩・杉岡裕子・大塚宏徳・松野哲男・島 伸和
- P118 鬼界カルデラ DAS 観測のセンブリンス解析による震源決定  
※中野 優・中島倫也・荒木英一郎・杉岡裕子・伊藤亜妃・松本浩幸・横引貴史・利根川貴志・小野重明
- P119 2022年1月HTHH火山噴火終息過程に発生した地震パルスの時間変化  
※◎堀内拓朗・市原美恵・西田 究
- P120 トンガ海底通信ケーブルを用いたDAS観測による震源方位推定  
※◎中尾俊介・市原美恵・中野 優・Vaiomounga Rennie・Taaniala Kula・篠原雅尚
- P121 チリ南部チャイテン火山プランコ川流域におけるラハール堆積物の層序と特徴  
※片岡香子・Umazano Aldo Martín・常松佳恵・野口里奈・Villegas Pablo Martin
- P122 ラパルマ島2021年噴火における脈動型ダイク貫入  
※鷲谷 威・甘 佩鑫・Monika Przeor・Lua D'Auria・Jose Barrancos・Nemesio Perez
- P123 火山からの距離と地震活動 ※田中明子
- P124 連続波形からの噴火前傾斜変動検知に向けた全自動の前処理システムの開発 ※前田裕太
- P125 気象庁数値気象モデルを用いたGNSS対流圏遅延補正の精度評価  
※奥山 哲・安藤 忍・新堀敏基・鬼澤真也
- P126 衛星観測と前方流跡線解析による二酸化硫黄放出率推定 その2  
※橋本明弘・高木朗充・新堀敏基
- P127 粒径と空気抵抗を考慮した弾道計算の検討  
※千葉達朗・杉下七海・佐々木 寿・及川輝樹
- P128 立入制限区域内の降灰厚情報の無人計測手法の開発—浅間山における垂直離着陸型UAVの活用検証—  
※国際航業株式会社(発表者:金井啓通)・永谷圭司・羽田靖史・佐部浩太郎
- P129 画像解析を用いた降下火砕物の粒度分布の検証:北海道樽前火山の例  
※金田泰明・西来邦章・廣井良美
- P130 高精細DEMデータの立体視判読に基づく火山体で認められる山体重力変形地形の分布と特徴  
※渡辺 樹・中村義也
- P131 火山ガスCO<sub>2</sub>の微量拡散分析器具の改良  
※谷口無我・大場 武
- P132 ガラスフィルターを用いたSO<sub>2</sub>カメラの校正の試み ※森 俊哉
- P133 噴気放熱率の全自動推定ツールの試作 ※成田翔平・橋本武志
- P134 気泡と結晶を含む低粘度マグマのアナログ引張実験:破壊の様子の観察と火山砕屑物形成の考察  
※◎小田沙也加・並木敦子
- P135 火砕物特性および噴火過程の理解に向けた降下火砕物の骨格密度測定  
※竹内吾吾・石毛康介・上澤真平・諏訪由起子
- P136 実験的研究に基づく粘性・非粘性ラハールの流動性の解明  
※◎石川智也・常松佳恵・竹林洋史・片岡香子
- P137 これはいつ噴火したのか?放射性炭素年代測定が不可能な場合の「若い」海底火山岩の間接年代測定アプローチ When did this Erupt? Indirect Dating Approaches for 'Young' Submarine Volcanic Rocks When Radiocarbon Dating Isn't Possible  
※Iona McIntosh・臼井洋一・石塚 治
- P138 複数元素の拡散クロノメトリーを用いた斜長石滞留時間の推定:蔵王火山の浅部マグマ溜まりプロセスへの適用  
※佐藤初洋・伴 雅雄・宋 科翰・新城竜一
- P139 岩石溶出実験から見た金属イオン溶出挙動への共存陰イオン組成の影響  
※陳 怡帆・木川田喜一
- P140 即発ガンマ線分析による火山岩中のホウ素や塩素の定量  
※佐野貴司・大澤崇人・三好雅也・川口允孝
- P141 流紋岩質マグマの相平衡:高圧実験とrhyolite-MELTSの比較 ※中谷貴之
- P142 非噴出珪長質マグマ中のメルトの含水量と温度圧力 ※◎川島泰地・斉藤 哲・下岡和也
- P143 含水マグマの噴火準備過程を解明するための角閃石成長の実験的制約 Experimental constraints on amphibole growth to elucidate pre-eruptive processes of hydrous magmas  
※Derek Weller・東宮昭彦・中谷貴之・鈴木敏弘
- P144 火山調査研究推進本部のプラットフォームとしてのJVDNシステムの開発  
※上田英樹・及川元己・高野智也
- P145 火山調査研究推進本部に係わる機動的な調査観測・解析グループの陸域実施体制  
※小澤 拓・森田裕一・藤田英輔
- P146 山梨県による火山防災イノベーション事業の取り組み状況 ※本多 亮・吉本充宏・藤井敏嗣
- P147 普及教育のための可搬型プロジェクトマップの構築  
※江川 香・佐々木 寿・本部 星・入江 潔・千葉達朗・阪本知典・岸本英一・高橋優花

- P148 御嶽山における避難訓練参加者（登山者）の避難  
行動モニタリング ※宮城洋介
- P149 火山活動・火山ハザード評価のための火山活動推  
移図の提案  
※藤田英輔・小澤 拓・上田英樹・小園誠史・  
三輪学央・宮城洋介・實測哲也・長井雅史・  
森田裕一・清水 洋・中田節也
- P150 建築モデルを考慮した土石流シミュレーション～  
熱海市伊豆山土石流災害の例～ ※久保智弘・久田嘉章
- P151 火山噴出物の土石流発生に対する影響評価  
※◎岩井智哉・宮田秀介・山野井一輝
- P152 噴石衝突に対する山小屋の補強を想定した人工軽  
石の圧縮特性評価  
※◎阿部一真・山田浩之・佐々木 寿・  
立山耕平・藤木裕行
- P153 ココアとコンデンスミルクを使った溶岩じわ実験  
—ジオパークでの活用を目指して ※林 信太郎